

プロジェクト02 アルペンルートの営業時間拡大

立山黒部貫光(株)

(1) これまでの経過

【中間とりまとめ】

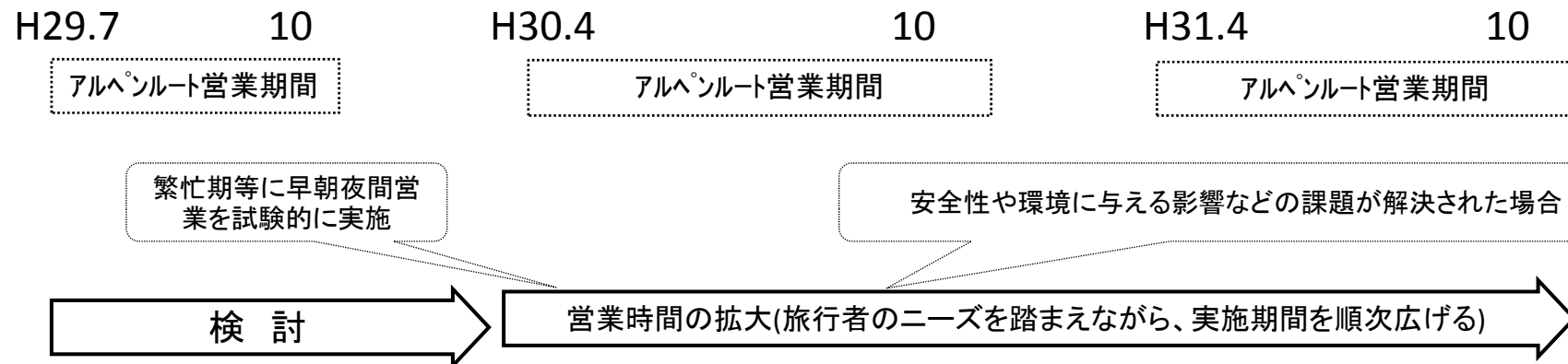
アルペンルートの営業時間を拡大し、魅力ある滞在プログラムを展開する。

【第1回「立山黒部」世界ブランド化推進会議 資料】

(推進事項)

安全確保や環境保全に配慮しつつ、営業時間の拡大範囲や拡大手法、これまで十分に提供されていなかった早朝や夕方・夜の魅力を活かした滞在プログラムを検討し、営業時間の拡大。

(スケジュールイメージ)



(2) 現状

【年間の混雑状況】

1日平均利用者数 4月7,000人 5月6,000人 6月2,400人 7月3,800人 8月6,000人
9月3,500人 10月4,200人 11月1,200人 年平均4,500人

ピーク日利用者数 4月10,000人 GW12~16,000人 お盆12~15,000人 SW18,000人

待ち時間の発生 ボトムネックとなる乗り物と駅

立山ケーブルカー 上り:立山駅 60~150分 Max240分 下り:美女平駅 60~120分

高原バス 下り:室堂駅 60~120分

立山ロープウェイ 上り:黒部平駅 60~100分 下り:大観峰駅 40~80分

【今年のお盆の混雑状況】

平成29年8月13日 入込人員**11,800人** 立山ケーブル **4,000人**上山

◎立山駅の状況 滞留人員(列) (駅全体) 待ち時間

4:00 駅員配置 100人 → 2:00

5:10 出札開始 300人 → 2:00

6:00 始発運行開始 400人 1,000人 2:00 9:00頃まで2時間待ち

7:00 **立山駅周辺駐車場満車** ☆8/11-12上山登山者の留置き車両多数有
スキー場に臨時駐車場を設置 無料シャトル運行 ~12:00 **230台**を誘導

◎室堂駅の状況 午後よりガス発生

14:00~16:00 高原バス乗車まで最大30分待ち

(3) 検討課題

【1】営業時間拡大の時期(繁忙日)と時間帯(早朝・夕方等)について、夜間運行は安全確保や自然環境の保護の問題があるため、**まずは日の出が早い繁忙期に営業時間を拡大することを検討してはどうか。**

①立山inの早朝運行について

繁忙日の出札開始:5:00 運行開始6:00 を前倒しできないか。

②扇沢inの早朝運行について

7:30前の臨時運行日増ができないか。(関電と協議が必要)

日の出時刻と運行日の立山ケーブルカー始発時刻との関係(2017)

観測日	日の出		始発時刻	観測日	日の出		始発時刻
4月15日	5:25	→	6:00	9月1日	5:25	→	6:00
5月1日	4:58	→	6:00	9月16日	5:34	→	6:00
5月16日	4:43	→	7:00	10月1日	5:46	→	6:00
6月1日	4:34	→	7:00	10月16日	5:59	→	7:00
6月16日	4:32	→	7:00	11月1日	6:15	→	7:00
7月1日	4:36	→	7:00	11月16日	6:30	→	8:00
7月16日	4:45	→	6:00	11月30日	6:44	→	8:00
8月1日	4:47	→	6:00				
8月16日	5:09	→	6:00				

※日の出時刻は富山地方気象台観測による



始発時刻が6時になる期間

【2】混雑日→閑散日への誘導により平準化を図る

① 混雑予想/状況の情報提供のありかた

NEXCO各社が提供する、日別に時間帯とエリア(発生区間)を組み合わせた情報を参考に、晴天・雨天の想定でわかりやすい提供を検討する。

② 閑散期・閑散時間帯の魅力をブラッシュアップさせる施策等 最低でも千人単位の旅客へ働きかけできる内容としたい。

(4) スケジュール

10月中旬以降 関係者打ち合わせ開催

来年度の混雑発生期(春先)に営業時間拡大と混雑予想情報を試験的に実施